

# ろう者の被爆体験を手話で伝承

1945年8月6日8時15分、世界で初めて、広島に原子爆弾が落とされた。悲惨な体験を語る被爆ろう者の思いを、手話という言葉で次世代に語り継いでいきたい。その思いから、2016年6月に広島市ろうあ協会と広島県手話通訳問題研究会伝承班が、共同で活動を開始した。

## 【主な活動】

- 2017年7月「平和の集い」広島平和記念資料館メモリアルホールで、広島市ろうあ協会と共に初めて被爆ろう者の体験を伝承発表。（NHKで全国放送！）
- 2017年8月第50回全国手話通訳問題研究集会「サマーフォーラムinひろしま」にて伝承発表。
- 広島を訪れた学校の生徒に、ろう者の被爆体験などを伝承。  
2018年9月 群馬県立聾学校中学部。  
12月 熊本県立熊本聾学校中学部。（中国新聞に掲載）



手話で被爆体験を伝承します。

「同じろう者の体験を聞くことができ、今まで以上に原爆の恐さが分かった。」  
(生徒の感想より)

# 平和への願いを込めてお伝えします！

会場についてはお問い合わせください

所要時間  
45分～1時間



広島ろう学校の戦前・戦中・戦後についてお話しします。

## 問合せ・申し込み先

特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会

NPO 手話センターひろしま

～手話で語り継ぐ被爆体験伝承者の会～

TEL (082) 568-6770

FAX (082) 568-6771

e-mail hirotsu-ken@nifty.com

〒732-0052 広島市東区光町1-11-5-508